

事前に災害への備えを！！

家庭でできる水害対策

家庭にある身近なものを利用して、
浸水の被害を軽減させる
「簡易水防工法」を紹介します。



©菊川市



◆簡易水のうの作り方◆

容量が40リットル程度のゴミ袋を用意する。(買い物用ビニール袋でも代用できます)



ゴミ袋を二重にする。
(袋が破れそうな場合は袋の枚数を
増やしてください)

中に半分くらい水を入れる。



袋の口をしっかりとしばる。

※二段重ね出来ないので、
10センチ程度の水深が限度です。

出入口などにすきまなく並べる。



◆簡易水のうとダンボール箱の併用◆

段ボールと水のうを用意する。

水のうをダンボール箱に入れる。

水のう入りダンボールを並べる。

多く入れすぎるとダンボールが裂けるのでハミ出ないように注意しましょう

©菊川市

水のうだけよりも強い！
ダンボールの中に詰める水のうも積み重ねられる！



◆ポリタンクとレジャーシートによる工法◆

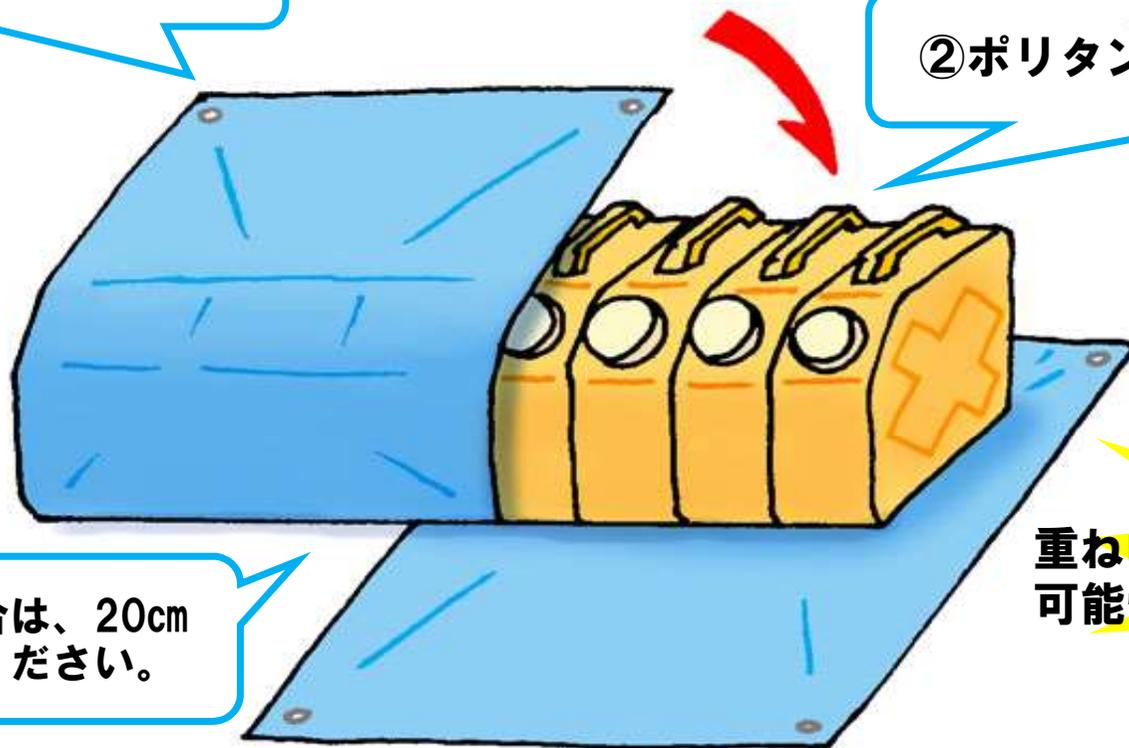
① 10リットル又は20リットルのポリタンクとレジャーシートを用意する。

③ レジャーシートで巻き込む。

② ポリタンクに水を入れて並べる。



©菊川市



④ 2枚以上使用する場合は、20cm以上重なるようにしてください。

重ね幅が少ないと水が浸透する可能性が高くなるので注意！

◆プランターとレジジャーシートによる工法◆

①土を入れたプランターとレジジャーシートを用意する。

2枚以上使用する場合は、20cm以上重なるようにしてください。

重ね幅が少ないと水が浸透する可能性が高くなるので注意！

レジジャーシートで巻き込む。

土を入れたプランターを並べる。

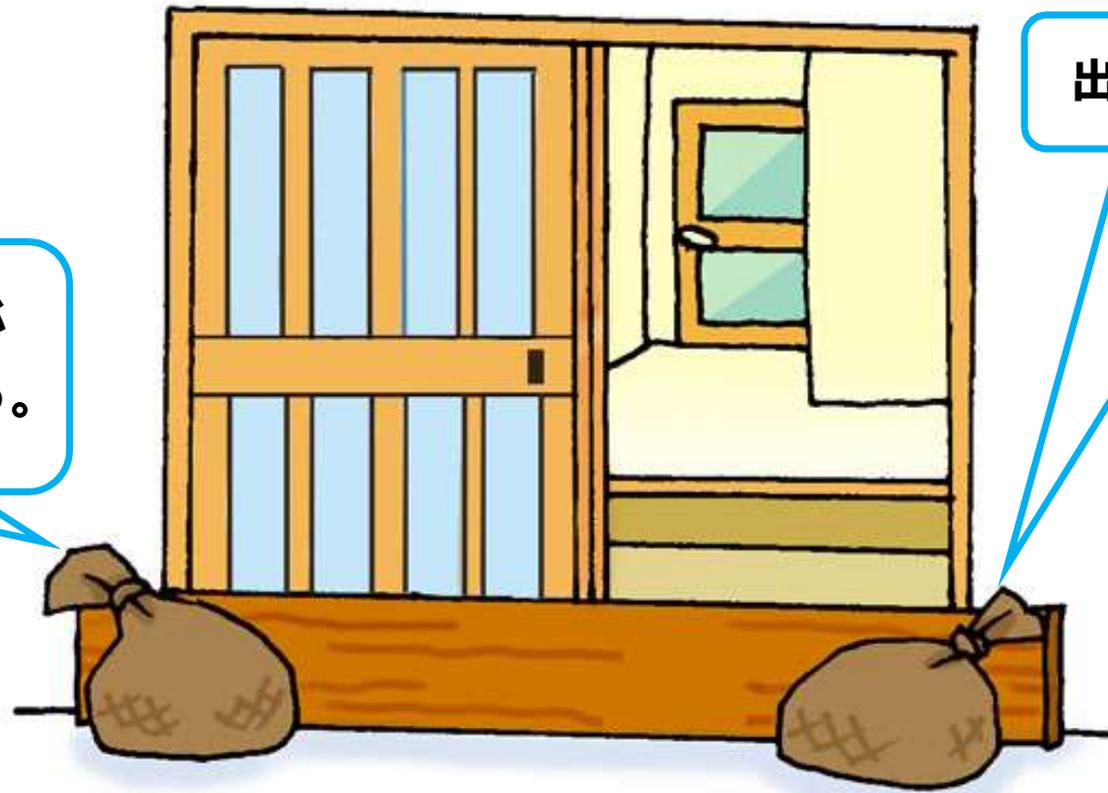


©菊川市

◆止水板による工法◆

出入口の長さの板と、板が動かないように重りを用意する。

重りを置いて、板が動かないようにする。



出入口に板を設置する。

